NIE実践報告

1．タイトル：☆地球に優しい食生活~　新聞から広く情報を集める~

2．学校名

新潟県長岡市立東北中学校

3．実践者名（代表者名）

小林　毅

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　35人

6．単元（本時の学習課題）名

食に関する記事を探す新しい方法を知る

7．目標（狙い）

「小見出しに食に関する用語が直接記入されている」どうかから、「記事の内容を考察したり連想したりすることで食に関する情報が得られる」というレベルまであることを知る。

8．評価の視点

同じ新聞を見直したときに、食につながると考えられる記事が多いこと、食につながる領域が非常に広いことを理解できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

食に関する指導（全7時間）
本時は4/7

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「健康的な朝食のとり方」（栄養教諭）
②「コンビニエンスストアの上手な利用法」（担任）
③「農家の方による講演会」（学年）
④「食についての情報を新聞から収集しよう」（担任）
⑤⑥「食と健康につながる問題を広く考えよう」（担任）
⑦「分かったことを文章にまとめよう」（担任）

（留意点）
・食に関する情報を与えられて考える学習から、情報を自ら収集し考察する学習へのスムーズな移行を目指す。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「ガソリン価格の高騰」と「イカ漁全面休漁」と「お寿司屋さんがネタに困っている」という記事の関連性がわかり、食とつながりのある記事がたくさんあることが分かったという感想が多かった。

12．成果と課題

本時のような「新聞記事を考察しながら」という力は、1時間の授業で身につくものではないので繰り返し指導が必要である。特に生徒にとって、関連性を感じない二つの記事が意外な形でつながっていると分かることは学習意欲を強く刺激し、効果的な学習に結びつく。そのためにまず教師自身が広く情報を集め、記事を読み込んでいく時間の確保が必要であるが、なかなか難しいのが現実である。